

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	インターンシップ						
担当教員	単位認定者：青谷 実知代						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	1.0
授業のテーマ	将来のキャリアに関連した就業体験						
授業の概要	企業実習に行く前の事前教育では、まずインターンシップとは何かを理解する。次に仕事への取り組み、ビジネス・マナーなど、心の準備と目的を的確にさせ、実習の効果を高めるようにする。企業での実習体験を通して、社会人として必要な資質を学び、将来自分が何をやりたいのか、それをどう実現するのかを学生が主体的に考え、取り組めるようにサポートする。また自分の将来に必要な仕事へ積極的にチャレンジできるようサポートする。						
到達目標	就業体験を通じて、将来の自立と学生時代の過ごし方を含めた自分のキャリアを主体的に考え実行できるようになる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスインターンシップについてⅠ：日本の状況 2. ビジネスインターンシップについてⅡ：海外の状況 3. 業種についてⅠ 4. 職種についてⅡ 5. 会社の仕組みⅠ 6. 会社の仕組みⅡ 7. ビジネスマナーⅠ 8. ビジネスマナーⅡ 9. 電話のマナー 10. 受付のマナー 11. 訪問のマナー 12. 実習先企業について調べてみる 13. 企業調査 14. プレゼンテーションⅠ：調べて企業について発表 15. プレゼンテーションⅡ 16. 実習先のマッチングⅠ 17. 実習先のマッチングⅡ 18. ビジネス文書Ⅰ（受入れのお願い） 19. ビジネス文書Ⅱ 20. 挨拶 21. 実習Ⅰ 22. 実習Ⅱ 23. 実習Ⅲ 24. 実習Ⅳ 25. 実習Ⅴ 26. 実習Ⅵ 27. お礼状の書き方 28. 報告 29. プレゼンテーション 30. 総括 						
授業外における学習（準備学習の内容）	ウェブ・新聞などで、常に社会の動きを見る。 一般常識、マナーなどの知識を深める。						
授業方法	企業・団体の職場に於いて就業体験を行う。						
評価基準と評価方法	事前レポート（20%）、事後レポート（20%）、実習先の評価（60%）で総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。印刷物を配布する。						
参考書	適宜紹介する。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・池松 華奈子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・大塩 佐公子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・小幡 祐可子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・澤田 和美						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・澤田 和美						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・布谷 由美子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくりまします。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインI						
担当教員	増永 理彦・布谷 由美子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	自分や社会を知りながら、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくる。 これから始まる4年間の大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。キャリアデザインIでは、ワークやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「社会を知る」「学問とのつながりを考える」ことを中心に、自分（皆さんひとりひとり）にとっていい人生を送るために「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「自分の良さを知る」：自分のいいところを一つでも自信をもって語れるようになる 「コミュニケーション力を磨く」：自分の意見を隠すことなく話し、相手の主張をしっかり受け止められるようになる 「目標の立て方を知る」：大学生活の中での目標とその実行計画を立てることができる						
授業計画	第1回 キャリアデザインって何だろう？ ※チェックシート&授業アンケート 第2回 自分について考えよう 第3回 あなたの強みは？ ①自分の強みを考えてみよう（★） 第4回 あなたの強みは？ ②強みから職業を考えてみよう（★） 第5回 社会で生きる 第6回 社会が求める人材って？ 第7回 コミュニケーションは社会のベース 第8回 職種・資格について考えよう ※キャリアサポートセンターへの案内 第9回 社会のトレンドを読む！ 第10回 社会と学問の関係は？ 第11回 「学び」の意味を考えよう！ 第12回 私のキャリアデザインマップ作成① 第13回 私のキャリアデザインマップ作成②～発表 第14回 目標に向かってチャレンジしよう ※「レポート」、「ワークシート」提出&「チェックシート」 第15回 まとめ ※（★）の回にて、特に自己発見レポートを使用						
授業外における学習（準備学習の内容）	以下の3点を、授業内やレポート等で予定しています。 ・キャリアサポートセンターでの演習 ・内定者の先輩の話を聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。 ・仕事をしている人のインタビューをする						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講義で使用するワークシートのうち、講師が指定したものをコピーして提出していただきます。（15点満点） ③講座終了時にレポートを提出していただきます。（40点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (ADVANCE)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインII						
担当教員	増永 理彦・池松 華奈子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどのような人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	就職活動の流れや実態を知り、社会で求められる基本スキルを身につける。 3年秋からの本格的な就職活動に臨む前に、就職活動の流れを知り、自分を知り、社会を知り、社会で求められる基本的スキルを身につけておくことは、より自分に合った進路選択ができる可能性が高まり、また自信にもつながります。キャリアデザインIIでは、ワークやグループディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自分や社会を知りながら「社会で求められる基本的スキル（コミュニケーション力・情報収集力・論理的思考力）」を身につけていきます。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。 *ただし、表面的な就職活動ノウハウを伝授するものではありません。この講座は、社会で必要となる力を、学びや大学生活を通じて獲得するためのものです。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「社会で求められる力を知る」： 社会で求められる基本の力を知り、大学生活の中でどうのばしていくかイメージできる。 「仕事について調べ方を学ぶ」：情報収集の仕方を学び行動することができる。 「目標を実行に移せる」：大学生活の中で立てた目標を実行にうつすことができる。						
授業計画	第1回 キャリアデザインを知る ※授業アンケート、チェックシート実施 第2回 就職活動の流れを知る 第3回 大学生活を充実させよう① 第4回 大学生活を充実させよう② 第5回 「大学生活充実計画」をプレゼンしよう 第6回 現在の就職環境を知り、自分の将来について考えよう 第7回 ワークスタイルの研究①（企業で仕事をするイメージを持つ） 第8回 ワークスタイルの研究②（様々な仕事の仕方を知る） 第9回 社会と大学のつながりを考えよう 第10回 社会で必要となる力とは①（コミュニケーション力） 第11回 社会で必要となる力とは②（情報収集力） 第12回 社会で必要となる力とは③（論理的思考力） 第13回 目標設定と行動計画をたてよう ～プレゼンテーション準備編～ 第14回 目標と行動計画を発表しよう ※プレゼン・課題提出、チェックシート実施 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	・キャリアサポートセンター演習 ・エントリーシート記入 ・パソコンを使った情報検索演習 ・内定者の先輩の話聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講座終了時に講師が指定するワークシートやレポートを提出していただきます。（55点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (BASIC)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						

参考書	
-----	--

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインII						
担当教員	増永 理彦・小幡 祐可子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	就職活動の流れや実態を知り、社会で求められる基本スキルを身につける。 3年秋からの本格的な就職活動に臨む前に、就職活動の流れを知り、自分を知り、社会を知り、社会で求められる基本的スキルを身につけておくことは、より自分に合った進路選択ができる可能性が高まり、また自信にもつながります。キャリアデザインIIでは、ワークやグループディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自分や社会を知りながら「社会で求められる基本的スキル（コミュニケーション力・情報収集力・論理的思考力）」を身につけていきます。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。 *ただし、表面的な就職活動ノウハウを伝授するものではありません。この講座は、社会で必要となる力を、学びや大学生活を通じて獲得するためのものです。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「社会で求められる力を知る」： 社会で求められる基本の力を知り、大学生活の中でどうのばしていくかイメージできる。 「仕事について調べ方を学ぶ」：情報収集の仕方を学び行動することができる。 「目標を実行に移せる」：大学生活の中で立てた目標を実行にうつすことができる。						
授業計画	第1回 キャリアデザインを知る ※授業アンケート、チェックシート実施 第2回 就職活動の流れを知る 第3回 大学生活を充実させよう① 第4回 大学生活を充実させよう② 第5回 「大学生活充実計画」をプレゼンしよう 第6回 現在の就職環境を知り、自分の将来について考えよう 第7回 ワークスタイルの研究①（企業で仕事をするイメージを持つ） 第8回 ワークスタイルの研究②（様々な仕事の仕方を知る） 第9回 社会と大学のつながりを考えよう 第10回 社会で必要となる力とは①（コミュニケーション力） 第11回 社会で必要となる力とは②（情報収集力） 第12回 社会で必要となる力とは③（論理的思考力） 第13回 目標設定と行動計画をたてよう ～プレゼンテーション準備編～ 第14回 目標と行動計画を発表しよう ※プレゼン・課題提出、チェックシート実施 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	・キャリアサポートセンター演習 ・エントリーシート記入 ・パソコンを使った情報検索演習 ・内定者の先輩の話聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講座終了時に講師が指定するワークシートやレポートを提出していただきます。（55点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (BASIC)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						

参考書	
-----	--

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	キャリアデザインII						
担当教員	増永 理彦・小幡 祐可子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	「キャリア」とはどういう人生を送りたいか常に考え続けることです。キャリアのスタートラインに立つ大学生のうちに、その基本となる考え方や行動の仕方を学びます。						
授業の概要	就職活動の流れや実態を知り、社会で求められる基本スキルを身につける。 3年秋からの本格的な就職活動に臨む前に、就職活動の流れを知り、自分を知り、社会を知り、社会で求められる基本的スキルを身につけておくことは、より自分に合った進路選択ができる可能性が高まり、また自信にもつながります。キャリアデザインIIでは、ワークやグループディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自分や社会を知りながら「社会で求められる基本的スキル（コミュニケーション力・情報収集力・論理的思考力）」を身につけていきます。 この講座を受講することにより、 ①社会に出る（就職）ための準備や練習を今のうちから始めることができます。 ②あなた自身の大学生活をより充実させることができます。 *ただし、表面的な就職活動ノウハウを伝授するものではありません。この講座は、社会で必要となる力を、学びや大学生活を通じて獲得するためのものです。						
到達目標	以下3点を目標として設定しています。 「社会で求められる力を知る」： 社会で求められる基本の力を知り、大学生活の中でどうのばしていくかイメージできる。 「仕事について調べ方を学ぶ」：情報収集の仕方を学び行動することができる。 「目標を実行に移せる」：大学生活の中で立てた目標を実行にうつすことができる。						
授業計画	第1回 キャリアデザインを知る ※授業アンケート、チェックシート実施 第2回 就職活動の流れを知る 第3回 大学生活を充実させよう① 第4回 大学生活を充実させよう② 第5回 「大学生活充実計画」をプレゼンしよう 第6回 現在の就職環境を知り、自分の将来について考えよう 第7回 ワークスタイルの研究①（企業で仕事をするイメージを持つ） 第8回 ワークスタイルの研究②（様々な仕事の仕方を知る） 第9回 社会と大学のつながりを考えよう 第10回 社会で必要となる力とは①（コミュニケーション力） 第11回 社会で必要となる力とは②（情報収集力） 第12回 社会で必要となる力とは③（論理的思考力） 第13回 目標設定と行動計画をたてよう ～プレゼンテーション準備編～ 第14回 目標と行動計画を発表しよう ※プレゼン・課題提出、チェックシート実施 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	・キャリアサポートセンター演習 ・エントリーシート記入 ・パソコンを使った情報検索演習 ・内定者の先輩の話聞きに行く ※前後期とも設定可能な場合に実施。						
授業方法	演習中心						
評価基準と評価方法	平常点45%、レポートやワークシート等の課題提出55%を基準とし、総合的に判断します。 ①毎回コミュニケーションシートを書いていただきます。テーマは講師が指定します。 コミュニケーションシートの提出が9回以下の場合は、平常点は0点になります。 また、講義への参加態度（積極性、主体性、協調性など）もここに含みますので、参加態度がよくない場合は減点をします。 ②講座終了時に講師が指定するワークシートやレポートを提出していただきます。（55点満点） *具体的な課題内容については講座終盤に発表し、最終講義時に提出していただく予定です。						
教科書	「MY CAREER NOTE I (BASIC)」 ワーク等で使いますので、毎回必ず持参してください。						

参考書	
-----	--

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）																																																																																																																														
科目名	キャリアデザイン研究																																																																																																																														
担当教員	単位認定者：青谷 実知代																																																																																																																														
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0																																																																																																																								
授業のテーマ	企業業界の現状と今後の展望を知る。																																																																																																																														
授業の概要	IT化・グローバル化の進展、産業構造の変化、企業浮沈等、変革が激しい現代を生きていく学生に、現場で実践を積んでおられる多様な講師をお招きし、広範囲な職業観や勤労観を学びます。																																																																																																																														
到達目標	職場や地域で活躍する上で必要な知識を身につけること。																																																																																																																														
授業計画	<p>本講義はそれぞれの講師が下記の講義項目について、1コマずつ担当するオムニバス形式による授業です。この科目はキャリア教育センターが開講するもので、学生に「各業界の現状と今後の展望」を紹介し、「各業界に必要な資質とその涵養」について理解させることを目的とします。</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>4月</td> <td>11日</td> <td>キャリアデザインについて</td> <td>一般教育</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>4月</td> <td>18日</td> <td>生きるということ・働くということ</td> <td>現代女性にとって</td> <td>新井</td> <td>一央</td> <td>キャリアコンサルタント</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>4月</td> <td>25日</td> <td>人生をいかに生きるか—心と体の健康</td> <td>人間科学部心理学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>5月</td> <td>9日</td> <td>企業の現状と今後—情報通信業</td> <td>佐々木 道正</td> <td>(株)エヌゲージ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>5月</td> <td>16日</td> <td>企業の現状と今後—宿泊業</td> <td>福寿 寛有</td> <td>(株)神戸ポートピアホテル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>5月</td> <td>23日</td> <td>企業の現状と今後—運輸業</td> <td>森本 全</td> <td>(株)ANA総合研究所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>5月</td> <td>30日</td> <td>企業の現状と今後—卸売・小売業</td> <td>森 政衛</td> <td>NI 帝人商事(株)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>6月</td> <td>6日</td> <td>企業の現状と今後—サービス業</td> <td>西坂 好隆</td> <td>(株)日本旅行</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>6月</td> <td>13日</td> <td>企業の現状と今後—証券業</td> <td>下長野有平</td> <td>野村證券(株)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>6月</td> <td>20日</td> <td>企業の現状と今後—金融・保険業</td> <td>森 祐美子</td> <td>(株)三菱東京UFJ銀行</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>6月</td> <td>27日</td> <td>今、社会人として求められるもの</td> <td>白石 憲二</td> <td>(株)朝日新聞社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>7月</td> <td>4日</td> <td>企業の現状と今後—製造業</td> <td>岡田 雅枝</td> <td>(株)ワコール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>7月</td> <td>11日</td> <td>人生をいかに生きるか—仕事</td> <td>法花 敏郎</td> <td>(株)朝日ビルディング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>7月</td> <td>18日</td> <td>企業の現状と今後—マスコミ業</td> <td>美藤 啓文</td> <td>毎日放送</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>7月</td> <td>25日</td> <td>—課題実施—</td> <td>一般教育</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							第1回	4月	11日	キャリアデザインについて	一般教育				第2回	4月	18日	生きるということ・働くということ	現代女性にとって	新井	一央	キャリアコンサルタント	第3回	4月	25日	人生をいかに生きるか—心と体の健康	人間科学部心理学科				第4回	5月	9日	企業の現状と今後—情報通信業	佐々木 道正	(株)エヌゲージ			第5回	5月	16日	企業の現状と今後—宿泊業	福寿 寛有	(株)神戸ポートピアホテル			第6回	5月	23日	企業の現状と今後—運輸業	森本 全	(株)ANA総合研究所			第7回	5月	30日	企業の現状と今後—卸売・小売業	森 政衛	NI 帝人商事(株)			第8回	6月	6日	企業の現状と今後—サービス業	西坂 好隆	(株)日本旅行			第9回	6月	13日	企業の現状と今後—証券業	下長野有平	野村證券(株)			第10回	6月	20日	企業の現状と今後—金融・保険業	森 祐美子	(株)三菱東京UFJ銀行			第11回	6月	27日	今、社会人として求められるもの	白石 憲二	(株)朝日新聞社			第12回	7月	4日	企業の現状と今後—製造業	岡田 雅枝	(株)ワコール			第13回	7月	11日	人生をいかに生きるか—仕事	法花 敏郎	(株)朝日ビルディング			第14回	7月	18日	企業の現状と今後—マスコミ業	美藤 啓文	毎日放送			第15回	7月	25日	—課題実施—	一般教育			
第1回	4月	11日	キャリアデザインについて	一般教育																																																																																																																											
第2回	4月	18日	生きるということ・働くということ	現代女性にとって	新井	一央	キャリアコンサルタント																																																																																																																								
第3回	4月	25日	人生をいかに生きるか—心と体の健康	人間科学部心理学科																																																																																																																											
第4回	5月	9日	企業の現状と今後—情報通信業	佐々木 道正	(株)エヌゲージ																																																																																																																										
第5回	5月	16日	企業の現状と今後—宿泊業	福寿 寛有	(株)神戸ポートピアホテル																																																																																																																										
第6回	5月	23日	企業の現状と今後—運輸業	森本 全	(株)ANA総合研究所																																																																																																																										
第7回	5月	30日	企業の現状と今後—卸売・小売業	森 政衛	NI 帝人商事(株)																																																																																																																										
第8回	6月	6日	企業の現状と今後—サービス業	西坂 好隆	(株)日本旅行																																																																																																																										
第9回	6月	13日	企業の現状と今後—証券業	下長野有平	野村證券(株)																																																																																																																										
第10回	6月	20日	企業の現状と今後—金融・保険業	森 祐美子	(株)三菱東京UFJ銀行																																																																																																																										
第11回	6月	27日	今、社会人として求められるもの	白石 憲二	(株)朝日新聞社																																																																																																																										
第12回	7月	4日	企業の現状と今後—製造業	岡田 雅枝	(株)ワコール																																																																																																																										
第13回	7月	11日	人生をいかに生きるか—仕事	法花 敏郎	(株)朝日ビルディング																																																																																																																										
第14回	7月	18日	企業の現状と今後—マスコミ業	美藤 啓文	毎日放送																																																																																																																										
第15回	7月	25日	—課題実施—	一般教育																																																																																																																											
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：日頃から新聞や情報誌を読み、関心ある業界の傾向をつかむ。 授業後学習：学んだ企業の会社概況などを読み、企業の理解を深める。</p>																																																																																																																														
授業方法	毎回提出する小レポート、講義後に提出するレポート、出席状況から総合的に評価します。																																																																																																																														
評価基準と評価方法	出席を重視する。この講義はオムニバス形式で実施するので毎回出席するよう心がけて下さい。																																																																																																																														
教科書	随時、紹介する。																																																																																																																														
参考書	授業中に紹介する。																																																																																																																														

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）																																																																																						
科目名	キャリアデザイン研究																																																																																						
担当教員	単位認定者：青谷 実知代																																																																																						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0																																																																																
授業のテーマ	企業業界の現状と今後の展望を知る。																																																																																						
授業の概要	IT化・グローバル化の進展、産業構造の変化、企業浮沈等、変革が激しい現代を生きていく学生に、現場で実践を積んでおられる多様な講師をお招きし、広範囲な職業観や勤労観を学びます。																																																																																						
到達目標	職場や地域で活躍する上で必要な知識を身につけること。																																																																																						
授業計画	<p>本講義はそれぞれの講師が下記の講義項目について、1コマずつ担当するオムニバス形式による授業です。この科目はキャリア教育センターが開講するもので、学生に「各業界の現状と今後の展望」を紹介し、「各業界に必要な資質とその涵養」について理解させることを目的とします。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>9月</td> <td>26日</td> <td>キャリアデザインについて</td> <td>一般教育</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月</td> <td>3日</td> <td>生きるということ・働くということ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ー 現代女性にとって</td> <td>新井 一央キャリアコンサルタント</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10月</td> <td>10日</td> <td>人生をいかに生きるかー心と体の健康</td> <td>人間科学部心理学科</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>10月</td> <td>17日</td> <td>企業の現状と今後ー情報通信業</td> <td>佐々木 道正 (株)エヌゲージ</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>10月</td> <td>24日</td> <td>企業の現状と今後ー宿泊業</td> <td>福寿 寛有 (株)神戸ポートピアホテル</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>10月</td> <td>31日</td> <td>企業の現状と今後ー運輸業</td> <td>森本 全 (株)ANA総合研究所</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>11月</td> <td>7日</td> <td>企業の現状と今後ー卸売・小売業</td> <td>森 政衛 NI 帝人商事(株)</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>11月</td> <td>14日</td> <td>企業の現状と今後ーサービス業</td> <td>西坂 好隆 (株)日本旅行</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>11月</td> <td>21日</td> <td>企業の現状と今後ー証券業</td> <td>下長野有平 野村證券(株)</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>11月</td> <td>28日</td> <td>企業の現状と今後ー金融・保険業</td> <td>新保 史絵子 (株)三菱東京UFJ銀行</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>12月</td> <td>5日</td> <td>今、社会人として求められるもの</td> <td>白石 憲二 (株)朝日新聞社</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>12月</td> <td>12日</td> <td>企業の現状と今後ー製造業</td> <td>岡田 雅枝 (株)ワコール</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>12月</td> <td>19日</td> <td>人生をいかに生きるかー仕事</td> <td>法花 敏郎 (株)朝日ビルディング</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>1月</td> <td>9日</td> <td>企業の現状と今後ーマスコミ業</td> <td>美藤 啓文 毎日放送</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>1月</td> <td>16日</td> <td>ー課題実施ー</td> <td>一般教育</td> </tr> </table>							第1回	9月	26日	キャリアデザインについて	一般教育	第2回	10月	3日	生きるということ・働くということ					ー 現代女性にとって	新井 一央キャリアコンサルタント	第3回	10月	10日	人生をいかに生きるかー心と体の健康	人間科学部心理学科	第4回	10月	17日	企業の現状と今後ー情報通信業	佐々木 道正 (株)エヌゲージ	第5回	10月	24日	企業の現状と今後ー宿泊業	福寿 寛有 (株)神戸ポートピアホテル	第6回	10月	31日	企業の現状と今後ー運輸業	森本 全 (株)ANA総合研究所	第7回	11月	7日	企業の現状と今後ー卸売・小売業	森 政衛 NI 帝人商事(株)	第8回	11月	14日	企業の現状と今後ーサービス業	西坂 好隆 (株)日本旅行	第9回	11月	21日	企業の現状と今後ー証券業	下長野有平 野村證券(株)	第10回	11月	28日	企業の現状と今後ー金融・保険業	新保 史絵子 (株)三菱東京UFJ銀行	第11回	12月	5日	今、社会人として求められるもの	白石 憲二 (株)朝日新聞社	第12回	12月	12日	企業の現状と今後ー製造業	岡田 雅枝 (株)ワコール	第13回	12月	19日	人生をいかに生きるかー仕事	法花 敏郎 (株)朝日ビルディング	第14回	1月	9日	企業の現状と今後ーマスコミ業	美藤 啓文 毎日放送	第15回	1月	16日	ー課題実施ー	一般教育
第1回	9月	26日	キャリアデザインについて	一般教育																																																																																			
第2回	10月	3日	生きるということ・働くということ																																																																																				
			ー 現代女性にとって	新井 一央キャリアコンサルタント																																																																																			
第3回	10月	10日	人生をいかに生きるかー心と体の健康	人間科学部心理学科																																																																																			
第4回	10月	17日	企業の現状と今後ー情報通信業	佐々木 道正 (株)エヌゲージ																																																																																			
第5回	10月	24日	企業の現状と今後ー宿泊業	福寿 寛有 (株)神戸ポートピアホテル																																																																																			
第6回	10月	31日	企業の現状と今後ー運輸業	森本 全 (株)ANA総合研究所																																																																																			
第7回	11月	7日	企業の現状と今後ー卸売・小売業	森 政衛 NI 帝人商事(株)																																																																																			
第8回	11月	14日	企業の現状と今後ーサービス業	西坂 好隆 (株)日本旅行																																																																																			
第9回	11月	21日	企業の現状と今後ー証券業	下長野有平 野村證券(株)																																																																																			
第10回	11月	28日	企業の現状と今後ー金融・保険業	新保 史絵子 (株)三菱東京UFJ銀行																																																																																			
第11回	12月	5日	今、社会人として求められるもの	白石 憲二 (株)朝日新聞社																																																																																			
第12回	12月	12日	企業の現状と今後ー製造業	岡田 雅枝 (株)ワコール																																																																																			
第13回	12月	19日	人生をいかに生きるかー仕事	法花 敏郎 (株)朝日ビルディング																																																																																			
第14回	1月	9日	企業の現状と今後ーマスコミ業	美藤 啓文 毎日放送																																																																																			
第15回	1月	16日	ー課題実施ー	一般教育																																																																																			
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：日頃から新聞や情報誌を読み、関心ある業界の傾向をつかむ。 授業後学習：学んだ企業の会社概況などを読み、企業の理解を深める。</p>																																																																																						
授業方法	毎回提出する小レポート、講義後に提出するレポート、出席状況から総合的に評価します。																																																																																						
評価基準と評価方法	出席を重視する。この講義はオムニバス形式で実施するので毎回出席するよう心がけて下さい。																																																																																						
教科書	随時、紹介する。																																																																																						
参考書	授業中に紹介する。																																																																																						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	倉島進・植田麻衣子・松永邦哉						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2~3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来の人生設計のためのライフプラン作成を通じて、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなるとなく取組にくいものです。しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 倉島 2. お金を稼ぐということ・・・様々な商売の仕組みについて、収入を得ることの意義を解説 倉島 3. ライフプランとは・・・ライフプランとはなにか？個人の人生を考える上で重要なことの解説。ライフイベント表の記載の仕方 松永 4. ライフプランニング・・・実習。ライフイベント表を実際に記入し、人生設計の中で考えなければならないことを注意点を匿名サンプルにて公表します。 松永 5. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 6. 【まもる】給料にまつわる知識・・・給与のしくみ、控除される税金や、年金、社会保険などの知識の取得 松永 7. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 8. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 9. 【つかう】子供の教育って・・・子供を1人育てるためには、どんな経費がかかるのか？不測の事態に備えるためにはどうすべきなのか？ 松永 10. 【つかう】車や家の購入のしかた・・・車の購入に伴う費用や住宅ローンに関する知識の取得 倉島 11. 【おさめる】税金の知識・・・所得税の仕組みを中心に税金の知識の取得 植田 12. 【のこす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておけばよい知識や税金の話 倉島 13. 【かながえる】ライフプランニング・・・最終会の発表会へ向けて再度ライフプランを策定します。 植田 14. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験。評価 植田 15. ライフプランの発表会・・・選抜による発表 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞等から情報を収集してください。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 演習時の1回はパソコン教室にて実施します。						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%						
教科書	書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 ISBN978-4-86367-025-9						
参考書	授業時にお伝えします。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	倉島進・植田麻衣子・松永邦哉						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	2~3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来の人生設計のためのライフプラン作成を通じて、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなるとなく取組にくいものです。</p> <p>しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 倉島 2. お金を稼ぐということ・・・様々な商売の仕組みについて、収入を得ることの意義を解説 倉島 3. ライフプランとは・・・ライフプランとはなにか？個人の人生を考える上で重要なことの解説。ライフイベント表の記載の仕方 松永 4. ライフプランニング・・・実習。ライフイベント表を実際に記入し、人生設計の中で考えなければならないことを注意点を匿名サンプルにて公表します。 松永 5. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 6. 【まもる】給料にまつわる知識・・・給与のしくみ、控除される税金や、年金、社会保険などの知識の取得 松永 7. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 8. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 9. 【つかう】子供の教育って・・・子供を1人育てるためには、どんな経費がかかるのか？不測の事態に備えるためにはどうすべきなのか？ 松永 10. 【つかう】車や家の購入のしかた・・・車の購入に伴う費用や住宅ローンに関する知識の取得 倉島 11. 【おさめる】税金の知識・・・所得税の仕組みを中心に税金の知識の取得 植田 12. 【のこす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておけばよい知識や税金の話 倉島 13. 【かながえる】ライフプランニング・・・最終会の発表会へ向けて再度ライフプランを策定します。 植田 14. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験。評価 植田 15. ライフプランの発表会・・・選抜による発表 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞等から情報を収集してください。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 演習時の1回はパソコン教室にて実施します。						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%						
教科書	書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 ISBN978-4-86367-025-9						
参考書	授業時にお伝えします。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	倉島進・植田麻衣子・松永邦哉						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2～3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来の人生設計のためのライフプラン作成を通じて、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなるとなく取組にくいものです。</p> <p>しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 倉島 2. お金を稼ぐということ・・・様々な商売の仕組みについて、収入を得ることの意義を解説 倉島 3. ライフプランとは・・・ライフプランとはなにか？個人の人生を考える上で重要なことの解説。ライフイベント表の記載の仕方 松永 4. ライフプランニング・・・実習。ライフイベント表を実際に記入し、人生設計の中で考えなければならないことを注意点を匿名サンプルにて公表します。 松永 5. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 6. 【まもる】給料にまつわる知識・・・給与のしくみ、控除される税金や、年金、社会保険などの知識の取得 松永 7. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 8. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 9. 【つかう】子供の教育って・・・子供を1人育てるためには、どんな経費がかかるのか？不測の事態に備えるためにはどうすべきなのか？ 松永 10. 【つかう】車や家の購入のしかた・・・車の購入に伴う費用や住宅ローンに関する知識の取得 倉島 11. 【おさめる】税金の知識・・・所得税の仕組みを中心に税金の知識の取得 植田 12. 【のこす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておけばよい知識や税金の話 倉島 13. 【かながえる】ライフプランニング・・・最終会の発表会へ向けて再度ライフプランを策定します。 植田 14. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験。評価 植田 15. ライフプランの発表会・・・選抜による発表 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞等から情報を収集してください。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 演習時の1回はパソコン教室にて実施します。						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%						
教科書	書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 ISBN978-4-86367-025-9						
参考書	授業時にお伝えします。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	金融リテラシー						
担当教員	倉島進・植田麻衣子・松永邦哉						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	2～3	単位数	2.0
授業のテーマ	将来の人生設計のためのライフプラン作成を通じて、お金に関する知識を習得する。						
授業の概要	<p>お金に関する知識は、今後人生の中で非常に重要なものです。就職して初めて貰う給料から始まり、自分の人生の保障となる社会保険や年金、生命保険、貯蓄としての預金や株式への投資、そして最大の支出である、結婚、住宅の購入、子供の教育費、そして、財産の次世代への移管である贈与や相続といった形で一生関わりのあるものです。</p> <p>しかし、どの分野を取っても専門的な知識が多くなると取組にくいものです。しかし、詳しい内容はそれぞれ個々で相談や検討するにしても、その前提となる基礎知識を持っていることは、非常に重要なことと考えられます。</p> <p>本講座では、これらの知識を広く知るとともに、お金の観点から計画性と希望をもって今後の人生について考えてもらうことを目的としています。</p>						
到達目標	本講座では、最終知識レベルとして、FP技能士3級の知識を想定しています						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・授業の概要の説明 倉島 2. お金を稼ぐということ・・・様々な商売の仕組みについて、収入を得ることの意義を解説 倉島 3. ライフプランとは・・・ライフプランとはなにか？個人の人生を考える上で重要なことの解説。ライフイベント表の記載の仕方 松永 4. ライフプランニング・・・実習。ライフイベント表を実際に記入し、人生設計の中で考えなければならないことを注意点を匿名サンプルにて公表します。 松永 5. 【まもる】生命保険の知識・・・生命保険のしくみと概要の解説 松永 6. 【まもる】給料にまつわる知識・・・給与のしくみ、控除される税金や、年金、社会保険などの知識の取得 松永 7. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 8. 【ためる】金融商品のしくみ・・・お金をためるということはどういうことか 植田 9. 【つかう】子供の教育って・・・子供を1人育てるためには、どんな経費がかかるのか？不測の事態に備えるためにはどうすべきなのか？ 松永 10. 【つかう】車や家の購入のしかた・・・車の購入に伴う費用や住宅ローンに関する知識の取得 倉島 11. 【おさめる】税金の知識・・・所得税の仕組みを中心に税金の知識の取得 植田 12. 【のこす】贈与・相続に関する知識・・・贈与や相続に関する法律上知っておけばよい知識や税金の話 倉島 13. 【かながえる】ライフプランニング・・・最終会の発表会へ向けて再度ライフプランを策定します。 植田 14. 終了試験・・・FP技能士3級レベルの試験。評価 植田 15. ライフプランの発表会・・・選抜による発表 植田 						
授業外における学習（準備学習の内容）	金融の言葉の一部は難解な言葉もあります。日頃から新聞等から情報を収集してください。						
授業方法	講義形式、演習形式で実施します。 演習時の1回はパソコン教室にて実施します。						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%						
教科書	書名：女性の「お金力」養成塾 著者：倉島進・植田麻衣子 出版社：セルバ出版 ISBN978-4-86367-025-9						
参考書	授業時にお伝えします。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・林 裕子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	<p>ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。</p> <p>現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。</p>						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明</p> <p>第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係</p> <p>第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情</p> <p>第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景</p> <p>第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業</p> <p>第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション</p> <p>第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて</p> <p>第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等</p> <p>第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する</p> <p>第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える</p> <p>第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」</p> <p>第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・林 裕子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・林 裕子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・林 裕子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	<p>ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。</p> <p>現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。</p>						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明</p> <p>第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係</p> <p>第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情</p> <p>第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景</p> <p>第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業</p> <p>第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション</p> <p>第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて</p> <p>第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等</p> <p>第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する</p> <p>第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える</p> <p>第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは</p> <p>第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」</p> <p>第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・林 裕子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	ホスピタリティ・マネジメント						
担当教員	増永 理彦・林 裕子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2～3	単位数	2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求						
授業の概要	ホスピタリティを様々な角度からとりあげ、これからの産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。 現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、買い物などホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。この授業では、エアラインのサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティとはどのようなものであるか、それを生み出すには何が求められるかについて広く考察していく。						
到達目標	ホスピタリティを様々な角度から考察し、理解する。最終的には受講生自身がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。						
授業計画	第1回 オリエンテーション : 授業履修にあたっての説明 概要説明 第2回 ホスピタリティとは : ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの関係 第3回 ホスピタリティと人間 : 相手を思いやる気持ちはどこからくるのか 人の感情 第4回 ホスピタリティと文化 : ホスピタリティの表現について 時代・文化の背景 第5回 ホスピタリティと産業 : ホスピタリティ産業 第6回 ホスピタリティとコミュニケーションⅠ : ホスピタリティとコミュニケーションの関係 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション 第7回 ホスピタリティとコミュニケーションⅡ : ホスピタリティを発揮する為に必要なこととは 挨拶、敬語、基本マナーについて 第8回 ホスピタリティのコミュニケーションⅢ : コミュニケーション能力を向上させる演習 スマイルスキャンを使用した笑顔練習等 第9回 ホスピタリティの評価 : 身近なホスピタリティ産業を評価し発表する 第10回 ホスピタリティ・マネジメントⅠ : ホスピタリティを発揮する為の全体のマネジメントを考える 第11回 事例研究 : ANAのホスピタリティ・マネジメントとは 第12回 事例研究 : 東京ディズニーリゾートのホスピタリティ・マネジメントとは 第13回 事例研究 : ホテルリッツカールトンのホスピタリティ・マネジメントとは 第14回 発表「私が考えるホスピタリティとは」 第15回 発表「私が考えるホスピタリティとは」						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業後学習：配布資料を読み、復習すること。最終的に理解した内容を発表に繋げる為、毎週の授業を理解し考察していくことが大切である。						
授業方法	パワーポイントを使って講義形式で行う。						
評価基準と評価方法	毎回実施する小テスト・レポート75%、発表20%、授業態度5%とし、総合的に判断する。						
教科書	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書							

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計A						
担当教員	倉島 進						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	簿記の仕組みの理解を通じて、企業のお金の流れを理解する。						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。簿記Aでは、簿記の仕組みを網羅的に理解することを主眼として、簿記の流れと、個別の仕訳について学習します。</p>						
到達目標	<p>簿記全体の流れを理解することを通じて、簿記で使われる専門用語や勘定科目の言葉の理解ができること。 会社の仕訳の基本が理解できること。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 簿記の世界へようこそ！ 3. 勘定科目のしくみ、仕訳のしくみ 4. 仕訳のしくみ 5. 記帳のしくみ、決算のしくみ 6. 現金、当座預金 7. 小口現金 8. 商品売買（仕入） 9. 商品売買（売上） 10. 商品有高帳 11. 手形 12. 手形のでん末と手形記入帳 13. 有価証券 14. 固定資産 15. 前期総まとめと試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>簿記は、語学とともに、積み重ねの練習が必要です。授業で、行った項目の復習に力を入れてください。仕訳の問題集を紹介いたしますので、余力のある方は、是非取り組んでください。</p>						
授業方法	<p>講義形式で実施します。 理解度を上げるため、講義の途中で、演習を行う場合があります。</p>						
評価基準と評価方法	<p>評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%</p>						
教科書	<p>書名：はじめての簿記入門 第2刷 著者：倉島進 出版社：セルバ出版 I S B N 978-4-86367-005-1</p>						
参考書	<p>授業時に紹介。</p>						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計A						
担当教員	倉島 進						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	1~2	単位数	2.0
授業のテーマ	簿記の仕組みの理解を通じて、企業のお金の流れを理解する。						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。簿記Aでは、簿記の仕組みを網羅的に理解することを主眼として、簿記の流れと、個別の仕訳について学習します。</p>						
到達目標	<p>簿記全体の流れを理解することを通じて、簿記で使われる専門用語や勘定科目の言葉の理解ができること。 会社の仕訳の基本が理解できること。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 簿記の世界へようこそ！ 3. 勘定科目のしくみ、仕訳のしくみ 4. 仕訳のしくみ 5. 記帳のしくみ、決算のしくみ 6. 現金、当座預金 7. 小口現金 8. 商品売買（仕入） 9. 商品売買（売上） 10. 商品有高帳 11. 手形 12. 手形のでん末と手形記入帳 13. 有価証券 14. 固定資産 15. 前期総まとめと試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>簿記は、語学とともに、積み重ねの練習が必要です。授業で、行った項目の復習に力を入れてください。仕訳の問題集を紹介いたしますので、余力のある方は、是非取り組んでください。</p>						
授業方法	<p>講義形式で実施します。 理解度を上げるため、講義の途中で、演習を行う場合があります。</p>						
評価基準と評価方法	<p>評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%</p>						
教科書	<p>書名：はじめての簿記入門 第2刷 著者：倉島進 出版社：セルバ出版 I S B N978-4-86367-005-1</p>						
参考書	<p>授業時に紹介。</p>						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計B						
担当教員	倉島 進						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	簿記の仕組みの理解を通じて、企業のお金の流れを理解する。						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。簿記Aでは、簿記の仕組みを網羅的に理解することを主眼として、簿記の流れと、個別の仕訳について学習します。</p>						
到達目標	簿記Aから通じて、日商簿記3級試験合格レベルの知識の習得を目標とします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. その他の債権債務 2. 資本金、税金 3. 帳簿組織 4. 伝票会計 5. 試算表の仕組み 6. 決算の流れ 7. 決算修正作業 8. 決算整理作業（経過勘定科目） 9. 決算整理作業（売上原価の算定） 10. 決算整理作業（資産の評価） 11. 精算表の作成（仕組みの理解） 12. 精算表の作成（精算表の完成） 13. 帳簿の締切と報告書の作成 14. 後期試験 15. 後期総まとめ 						
授業外における学習（準備学習の内容）	簿記は、語学とともに、積み重ねの練習が必要です。授業で、行った項目の復習に力を入れてください。仕訳の問題集を紹介いたしますので、余力のある方は、是非取り組んでください。						
授業方法	講義形式で実施します。 理解度を上げるため、講義の途中で、演習を行う場合があります。						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%						
教科書	<p>書名：はじめての簿記入門 第2刷 著者：倉島進 出版社：セルバ出版 I S B N978-4-86367-005-1</p>						
参考書	授業時に紹介。						

科目区分	全学共通（キャリア・ビジネス教育系列）						
科目名	簿記・会計B						
担当教員	倉島 進						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	簿記の仕組みの理解を通じて、企業のお金の流れを理解する。						
授業の概要	<p>社会には、さまざまな会社があります。会社は儲けるために日々努力しています。これらの会社の活動には、必ずお金が絡んでおり、経営者は、そのお金の動きについて、記録し財務諸表という報告書をつくって報告をしなければなりません。これらの方法は統一された方法があり、その方法が簿記です。言い換えれば、この授業は、会社がどのような活動をし、どのように儲けていくのかについての仕組みを勉強して行きます。簿記Aでは、簿記の仕組みを網羅的に理解することを主眼として、簿記の流れと、個別の仕訳について学習します。</p>						
到達目標	簿記Aから通じて、日商簿記3級試験合格レベルの知識の習得を目標とします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. その他の債権債務 2. 資本金、税金 3. 帳簿組織 4. 伝票会計 5. 試算表の仕組み 6. 決算の流れ 7. 決算修正作業 8. 決算整理作業（経過勘定科目） 9. 決算整理作業（売上原価の算定） 10. 決算整理作業（資産の評価） 11. 精算表の作成（仕組みの理解） 12. 精算表の作成（精算表の完成） 13. 帳簿の締切と報告書の作成 14. 後期試験 15. 後期総まとめ 						
授業外における学習（準備学習の内容）	簿記は、語学とともに、積み重ねの練習が必要です。授業で、行った項目の復習に力を入れてください。仕訳の問題集を紹介いたしますので、余力のある方は、是非取り組んでください。						
授業方法	講義形式で実施します。 理解度を上げるため、講義の途中で、演習を行う場合があります。						
評価基準と評価方法	評価は、授業の出席、授業中の発表、定期試験を加味して評価する。 割合は、平常点60%、定期試験40%						
教科書	<p>書名：はじめての簿記入門 第2刷 著者：倉島進 出版社：セルバ出版 I S B N978-4-86367-005-1</p>						
参考書	授業時に紹介。						